

2025 年 8 月 16 日 新横浜公園の生きもの博士になろう！2025

第 3 回「夏の夜の昆虫観察会」を開催しました。

鶴見川多目的遊水地として、水と緑が豊かな新横浜公園には、多種多様な生きものが生息しています。生きものを好きになり、理解を深めていただく機会として、今年度も「新横浜公園の生きもの博士になろう！2025」（協賛：株式会社春秋商事）を開催しています。

第 3 回は、木にしかけたバナナトラップに集まってくる昆虫やセミの羽化を観察しました。講師は、NPO 法人鶴見川流域ネットワークキングさんです。毎年多くの方にお申込みいただいているため、今年度は第 2 回に引き続き、同様の観察会を行いました。

第 2 レストハウスを出発して、観察スタートです。前回（8 月 2 日）は、園路の沿いの樹木からシリシリリリ…というヤブキリの鳴き声が多く聞こえてきましたが、今回は聞こえてきません。枝には、ハラビロカマキリが何匹か見られました。カマキリというと草むらにいますイメージですが、このカマキリは木に多いようです。

バナナトラップの場所に到着しました。今回も 8 ヶ所に場所を少し変えて仕掛けました。スズメバチがいないか安全チェックが済んでから近づいていくと、トラップの上にカブトムシが見え、npoTR ネットの阿部さんから「おー！カブトムシがきてた！！」と声がありました。前日夜、当日夕方とカブトムシの姿や夜中に来ていたような痕跡も見られず、心配だったようです。その後のトラップは、サクラコガネと思われるコガネムシの仲間やコクワガタが 2 匹ほど。最後のトラップには、褐色のハラビロカマキリがいました。匂いに誘われてやってくる昆虫を狙っていたのかもしれませんが。トラップ以外では、樹液が出ているシラカシに立派なコクワガタのオス。所どころの木からカネタタキ（鳴き声：チン、チン、チン）やアオマツムシ（鳴き声：リーー、リーー、リーー）の声が聞かれました。



トラップ観察の様子



カブトムシのオスがきてました！



サクラコガネと思われるコガネムシ

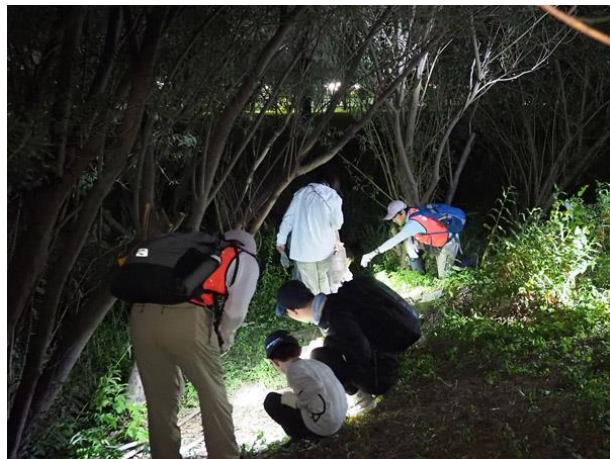


褐色のハラビロカマキリ（幼虫）



カネタタキ

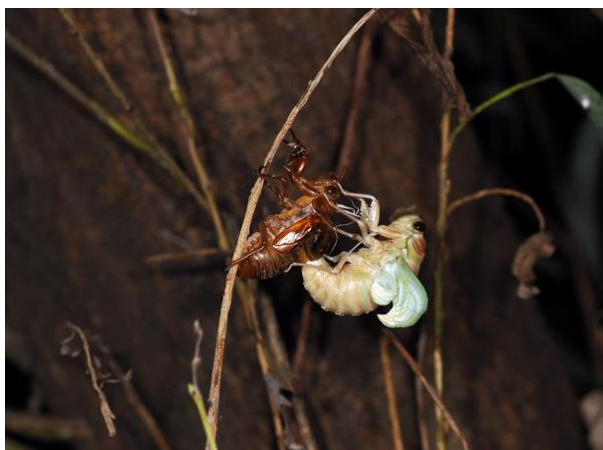
セミの羽化は、トラップ観察の中盤に行いました。前はアブラゼミでしたが、今回はツクツクボウシです。水路沿いのポイントで、3グループに分かれて1組ずつじっくりと観察しました。羽化直後に広げた透き通った翅がとても美しく、感動ものです。ツクツクボウシは、8月に入ると鳴き声がよく聞かれ、真夏の暑さを感じさせます。アブラゼミも少数が羽化していました。



セミの羽化観察の様子



ツクツクボウシの羽化



アブラゼミの羽化

これで観察終了と思いきや、最後にサプライズが待っていました。まとめをするスタジアムへの移動中、目の前を横切るように歩く大きなイモムシ。阿部さんが手にとって、毒はないし平気だよと声をかけると、子どもたちが集合。ドキドキした様子で、わーきゃー言いながら指でつんつんして、感触を楽しんでいました。

カブトムシやクワガタは少なかったですが、たくさんのツクツクボウシの羽化やアオマトムシの鳴き声など、8月中旬の夜の生きものを体感した観察会になりました。



サプライズ登場のセスジスズメの幼虫

次回の生きもの観察会は、11月15日（土）に大人版 野鳥観察会を開催します。皆様のご参加をお待ちしています。

なお、今回観察会のために特別にトラップ設置を行いました。普段は無断でのトラップ設置は禁止となっております。また、公園内で捕まえた昆虫等の生きものについて、観察後は放してあげるなどの配慮をお願いいたします。